

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



おめでとうございます！

**2009年
1・2
合併号**



目次

新年挨拶・新年の抱負	2
30周年記念パーティ報告	4
風の子会クリスマス会兼謝恩会、 高浜荘クリスマス会報告	6
きょうされん第32次 国会請願署名・募金のお願い	8
区長との懇談会報告	9
移動介護実習報告	10
防災訓練、 実習所報告とお知らせ	11
学習会	12
虫めがね	13
ｶﾝﾀﾞ-売上報告	15
新行事委員の紹介、 和栗さん連載	16
小野塚さん連載	17
夕会、スケジュール	18
寄付のお礼	19
編集後記	20

明けましておめでと
うございます。皆様
においては思い思い
のお正月を迎えられ
た事と思ひます。今
年は丑年、何かと忙
しく過ごしてしまう
毎日ですが、たまに
は牛のようにゆっか
りたりと歩み…英気
を養って下さいね。本
年も風の子会をどうぞ
宜しくお願いいたします。

太田 圭子

「三十一年目のスタート」

あけましておめでと
うございます。皆様そ
れぞれに明るい穏や
かな新年を迎えられ
たことと思ひます。い
つもご支援をいただ
いている皆様、ボラン
ティアの皆様、会員・
賛助会員の皆様には、
昨年は大変お世話に
なり有難うございま
した。また今年もよろ
しくお願いいたします。

本来、会長の花田政
國が新年のご挨拶を
申し上げるべきなの
ですが、ちよつと体
調を崩しており、今
年は僭越ながら副会
長の岡本が代理とし
て新年のご挨拶をさ
せていただきます。

皆様ご承知のよう
に、風の子会は昨年、
設立三十周年を迎え
ました。幾多の困難を
乗り越えての三十年は
決して短いものでは
なかつたのですが、人
間では三十歳代と言
えばまだ若く、社会
的にも一生のうちで
最も活躍できる年代
です。また家庭を持
つたり、子供ができ
たりと、いろ

いろ色彩に富む時期
です。

折りしも、世の中は
百年に一度といわれ
る経済不況の真只中
にあり、一割負担が
大きな問題となつて
いる。自立支援法も
揺れ動いている現
状、環境は決して楽
観できるものではありません。
しかし、三十代とい
う若い風の子会は、
それをバネにしてま
さにこれから大きな
飛躍ができるとき
です。

一方、ビジネスの世
界では、会社の寿命
は「三十年」という
言葉があります。ど
んなに栄えている会
社でも常に新しいこ
とに挑戦していか
ないと、たかだか三
十年でその繁栄はな
くなくなつてしま
う、ということなの
です。三十歳は若い
と言ひましたが、た
だ若いだけではダメ
なのです。風の子に
も挑戦が必要です。
これまで風の子会
は、どんなときでも
和氣藹々と、楽し
くやってきました。
そして他にはない
風の子の良さを作
り上げてきました。
風の子独自の文化
も創ってきました。
それを保ちながら、
新しい風の子会を
作り上げていくこ
とが、三十一年目
を迎えた風の子会
にとって必要な
ことです。

新しい風の子会を
作っていくには今
まで以上に皆で力
をあわせていくこ
とが必要です。た
だ楽しいだけでなく
、日常の活動のな
かに緊張感をもつ
て、充実した毎日
を過ごせるように
、皆で考えていき
たいと考えており
ます。

三十一年目の新
たなスタートの年
に際し、皆様には
新しい風の子会
のために、これまで
も増してのご支
援、ご協力をお願
いいたします。

平成二十一年一月

特定非営利活動法人 風の子会

理事・副会長 岡本 明

2009年 風の子会 みんなの 抱負

ハガキをたくさん作
りたい。内職をも
っと探したい。

朝生 孝之
ミキサをやる。



野田 広
ハガキや箸とか内
職をもっと一所懸
命頑張りたい。

青藤 臣

風の子が発展すべ
ければ良いなあ。
楽しく幸せに生き
ていけたら良いな
あ。



永澤 心
健康管理をしつかり
して明るく元気に
やりたいです。

青木 和代

風の子の三十周年
も無事に終わり大
勢の皆さんに来て
いただきこれからも
五年・十年と頑張
っていききたいと思
います。ありがとう
ございます。

松本 成子

また宝塚を観に行
きたいです。

飯尾 直美



もっと内職をしたい。

小野田 浩

皆様のお手伝いをしたい。
健康に気をつけて頑張りた
い。

田草川 満枝

箸入れを頑張る。
金田 潤坤

福島 基予子
風の子に今まで通り来れる
ように頑張る。

真鍋 淑子
優しく強くかわい
女性を見つけて風の子に連れて
きたいです。

岡本 裕介
健康に注意をして皆さんと一緒
に明るく楽しい風の子で過
ごしたいです。

岡 佳代子
健康第一で楽しく日々を送れる
ようにしたいです。

内田 千春
優しく強い女性を見つけて風
の子に連れてきたいです。

小林 高史



私も八十才になりました。これ
からも元気に風の子会で過
ごさせていただけますので、
宜しくお願い致します。

和栗 顕太郎

前にやっていた一人旅を再開
したいと思っ
ています。何故かと言え
ば、色々な人と出会
えるからです。今年
はどんな人との出会い
が待っているのか、と
ても楽しみです。

太田 稔
去年は救急車に乗るとい
う初体験をしたため、
今年はともかく体調管
理に努めます。

佐久間 庸
健康に留意し、一年を
乗り越えたいです。
時の経つのは早いも
ので、私も四十代に
なり、



何が起きても不思議
ではない年齢です。で
すから予防医学に努
め入院しなくてもい
い身体でいたいと思
っています。

三木 直人



六十代になったから
おとなしくしようと
自分を抑えていた
ら、三年前に骨折
して以来身体が悪
くなり、余計引
つまで弱くなって
、余計引つ込み思
案になってしまっ
た。今年は身体も
良くなった。今年
は身体も良くなっ
てきたことだし、
もう少し前向きに
なると思っています。
笑顔絶やさず一
年を過ごそうと思
っています。

太田 圭子

唯一(?)の存在の証・意味
となる、皆に信用・
必要とされる人に成
りたいです。二月に
行われる、『ハンド
サッカー大会』で勝
ちたいです。久々の
試合なので、エキシ
ビジョンマッチです
が、六月に行われ
るハンドサッカー
で、自己記録兼都
記録を超えたい
です。最低でも三十
六mは超えたい
です。

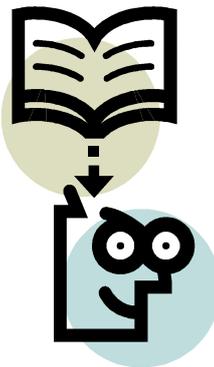
田村 亮彦

健康に注意すること
と、風の子会に入
会して十年なので、
風の子会のリーダー
を目指しています。

田中 聡

もつとパソコン
うまくなりた
い。漢字、ひらが
な、カタカナと
チャンネルレジ
がばります。

松本 恵司



パソコンのソフトは
数え切れないほど
あります。私はその
中で必要に応じて
ソフトを数多く勉
強して使っています。
しかし家に有るの
は約十五年前

購入したパソコンで、
古すぎて今のソフト
はほとんど対応して
いません。今年はい
換えが出来るかな
・・・!?

幸 高史

車ゲームを買って
一人でやりたい
です。なのでか
というとお母さん
がいつも車を運
転しているから
です。

右田 磨子

我が天海家に新
たな家族が増え
ました。そこで
今年抱負は、今
よりもまたさら
に運動をして、
体を鍛えたい
と思っます。そ
れから僕も何と
か今以上に、英
語力を身に付
けたいと思っ
ます。

天海 隆一

暗いことばかり
の新年ですが、
次期大統領
オバマ氏の
CHANGEにあ
やかり頑張り
て生きていきま
しょう。

吉田 久代

春に人の温かさを
感じ、夏に人の
情熱を感じ、
秋に人の切なさ
を感じ、冬に人
の淋しさを感じ
、冬に人の淋し
さを想う。木々
のざわめきに
耳を傾け、虫の
鳴き声に身を構
える。そんな、
人が本来持つて
いるはずの感受
性をもう一度取
り戻したい。

小野塚 航



去年は映画を平均
月二本は観られ
なかつたので、
今年にはコンス
タントに毎月二
本以上は観たい
です。

河原 雅子

ライブをやりたい
と思っます。

丸岡 秀明

余裕を持って新
しいことにチャ
レンジしてい
きたいと思っ
ます。

矢代 奈津三

風の子会30周年記念式典



皆様、ありがとうございました！



三十周年記念を終えて

昨年の十一月十五日、虎ノ門パストラルにて、風の子会創立三十周年記念祝賀会」が開かれました。当日は区長さんを始めとする区役所の障害者福祉課の方々、ボランティアさん、仲間のおかあさん方、そして仲間の僕たち、百人ほどの皆様が出席下さいました。司会は、ボランティアの波多野栄子さん、僕の妻の太田圭子、それに僕（太田稔）が務めました。式典は和栗さんの乾杯の後、色々な方々からのご祝辞を頂きました。そして食事をしながら、井出事務局長のスライドを見ながら、風の子会」の、歴史を語ってくれました。その後、僕たち仲間のコーナーとして、みんなでこの日のために練習してきた、西城秀樹の「ヤングマン」を、みんな張り切つて歌いました。そして皆様のおかげで式典は無事終了することが出来ました。僕は風の子会が、四十周年、五十周年、いや百周年と続きますようにと、心から願う次第です。

太田 稔

11月15日、虎ノ門パストラルにて風の子会の創立30周年記念パーティーが盛大に行われました。区長を始め役所関係の人や、以前に風の子の職員をしていた方、顔馴染みのボランティアさんなど多くの人達に集まっていただき、風の子の30周年を祝いました。事務局長が写真をスライドで流しながら30年を振り返り、風の子のメンバーが作成した風の子関連クイズを行い、メンバーと職員がそろって“ヤングマン”を披露して、みなさんもたいへん盛り上がり大団円を迎えました。

風の子会はこれからも40周年、50周年を目指して前に進んでいきます！

小野塚 航



まだまだヤングマン！

僕たちの出し物が良かった。みんなに会えてうれしかった。井出さんの話もよかった。クイズも楽しかった。ごはんもおいしかった。準備がとても大変だったと思う…朝生



パーティーは楽しかった。みんな元気そう良かった…金田

YMCAを歌って楽しかった。ポンポンを振って一生懸命頑張りました。上手に出来ました。昔のスライドが見れたのでよかった…斉藤



風の子会二十周年で何か書けとのことですが、風の子会が、これから大きく飛躍をする最も大事な時期に、私が旅行委員長になり、張り切っていた矢先、昭和六十二年四月、母が階段から落ち右足複雑骨折で入院、全治六ヶ月以上掛かるとの診断、私はやむなく千葉の障害者の施設に入所、三年ぐらいで戻れると思っていたのに、いつの間にか十二年もたつていて、その間に風の子も大きく立派に成長をして、実習所も職員さんもすっかり変わってしまった、新旧のメンバーも、十二年ぶりに風の子に復帰した私を、お帰りの暖かく迎えてくれました。変わったことといえばワープロからパソコンになったことでした。何時も新しい物を受け入れて、これにより重度障害を背負った私達でも、思うように文章が書ける。これこそ永年の夢が、現実に叶えられたのである。初めはドイツ製の立派なケースに入った、電動タイプライターを頂いて、初めて文章を書いてみました。段々文章が上手く書けるようになると、長い文章が面白くなって、どんどん書いてみたくなる。生まれて初めて私の文章を母が読んでくれました。タイプライターやワープロ、そしてパソコンと出会うたのも、風の子会のお陰だと思っております。私は今、風の子会に入つて良かったと思っております。あのちっぼけなサークルアラクサが、今のよう立派な風の子会に成長したのも、皆さんの努力、とりわけ井出さんの風の子会に対する献身的な努力と情熱のたまものと思つて感謝と尊敬の気持ちであります。乱文にて申しわけ有りませんでした。

風の子会よ永遠なれ。

和栗 頭太郎

風の子会 クリスマス会&謝恩会



古典落語にある「寿限無寿限無」を芝居にアレンジしたものでした。皆で寿限無寿限無のところを一緒に言う場面があり、盛り上がりしました。その後は班別対抗クイズで盛り上がりしました。さらに、初の試みかもしれませが、男子職員の出し物による「矢島美容室の『ニホンノミカタ』のものまねをしました。この時が一番参加者全員盛り上がりっていました。そして最後に、メンバからの出し物として「ジングルベル」を歌って、今年のクリスマス会が無事に幕を下ろしました。クイズで時間をとられてしまい、サンタクロースとトナカイが登場できなかったというトラブルがありました。したが、楽しくできて良かったと思いました。

田中 聡

風の子クリスマス会について

十二月二十日（土）十一時～十六時まで、会議室にて風の子会のクリスマス会が行われました。開催の挨拶も終わり、ボランティアさんの出し物その①として、昭和音楽大学四名による演奏会が行われました。その後、和栗さんによる乾杯の挨拶の後、演奏を聴きながら食事しました。十三時ごろになり、ボランティアさんの出し物その②で、能代さんと能代さんの友人の方による二人芝居を行っていただきました。そのテーマは、

じゅげむじゅげむ ごころのすりきれ～



いらっしゃ〜い



太田 圭子

楽しいクリスマス会
今年クリスマス会は行わないと、夕会では決まっていたのですが、時間が経ってから異議が出てやる事になりました。クリスマス委員が三名選ばれ女性職員二人と面白い企画を立ててくれました。始めは音大生四人のサクスの演奏からで、次は劇団員のボラさんが落語の「ジュゲム」をやってくれました。食事の後はクイズ大会とかクリスマスソングを合唱したりして楽しみました。が、圧巻は世界の三大美女ならぬ風の子の三大美女の？登場にみんなが「ワーツ」と歓声を上げました。綺麗にメイクをしてドレス姿で唱い踊る三人に、拍手喝采で本当に楽しいクリスマス会でした。委員の皆さん有り難う。協力してくれた皆さん有り難うございました。

昭和音楽大学の方があなたの街に演奏に行きます！

演奏させていただける場所を探しています。ソプラノからバリトンまでのサクソフォン四本で、クラシックもポップスも吹きます。もしお願いしたいなという方がいましたら、下記に連絡してください。よろしくお願いたします。

pal_sax4@yahoo.co.jp (担当：鈴木)



もうひとつのクリスマス会 高浜荘クリスマス会



今年も高浜荘のクリスマス会に出席してきました。クリスマスツリーを作り（飾り付けだけですが）、ケーキを食べ、用意されたお菓子を詰め合わせしました。作り上げたツリーを家に持ち帰り、ずっと飾っていました。

田村 亮彦



ツリーをととても楽しく作ることができた。よかったと思います。みなさん楽しく作っていました。

今回はお菓子の詰め合わせの中にクリスマスカードが入っていたので、そのカードに色んなものが貼れるのでよかったです。部屋の飾り付けがとてもきれいでした。

永澤 心一



**きょうされん第三十二次国会請願
署名・募金のお願**

今年もきょうされん（旧共同作業所全国連絡会）の「国会請願署名・募金運動」の時期がスタートしました。

障害者自立支援法は今年、「3年後の見直し」の時期に当たります。

日本の社会保障予算は少子高齢化に伴う自然増が年間八千七百億円に対して二千二百億円の抑制を五年連続で行っています。国連が採択した「障害者権利条約」に日本は未だ批准していません。「応益負担」が憲法に違反していることを問う訴訟運動も進められています。

この様な情勢の中、今回の署名・募金運動は、署名百六十五万筆、募金六千万円達成の目標を掲げています。

請願項目は次の四点です。

一、**応益負担制度や報酬の日額払い方式を根幹とする障害者自立支援法は一旦廃止してください。**

障害者自立支援法は始まった当初から「特別対策」「緊急措置」等の利用者負担の軽減措置を実施してきました。しかし、これらはあくまで一時期の措置です。障害者が当たり前の生活をするためのサービスを受けるのに自己負担金が発生するという、応益負担のしく

みを制度化した自立支援法そのものを廃止しない限り、本当の問題解決にはなりません。

二、**現行事業体系を改変し、国や自治体の責任で、小規模作業所も含むすべての事業が安定して運営できるようにしてください。**

障害者自立支援法になってから、多くの都道府県が小規模作業所への補助金をうち切ってきました。小規模作業所は法内施設への移行を迫られています。しかし小規模作業所の移行先と考えられている「地域活動支援センター」は収入が補助金事業より格段に低くなります。補助金に近い収入が得られる「個別給付事業」に移行するには定員等の要件が難しく、他の作業所との吸収合併や作業所の閉所に追い込まれる所も出ています。そのような状況なので、移行して運営を続けたくても、動きのとれない作業所もあります。障害者の行き場を失わないような施策を求めます。

三、**障害のある人に必要な支援を安定して継続できるよう、これを支える職員の労働条件を改善してください。**

施設などの職員は低賃金と長時間労働で大変な状況に置かれています。作業所での仕事・活動や生活を支える大事な役割を担っている職員が元気に働き続けることが出来るよう労働条件を改善して貰えないと、職員の人数不足やベテラン職員の不在を招き、障害者の生活にも影響が出てしまいます。

四、**社会保障制度の飛躍的な拡充に向けて、関連する予算を先進国並に引きあげてください。**

日本の社会保障費はヨーロッパの国々に比べると格段に少ないです。障害分野に限ってみると更に少なくなり、アメリカより少なく、半分くらいになってしまっています。これらを先進国並に引きあげてもらわなければならない。



是非とも同封の署名用紙に書かれている趣旨をお読みになり、ご賛同・ご協力いただけたらと願っております。皆様のご協力をお待ちしています。

* * * *

署名にご協力いただく皆様へ

今回の第三十二次署名活動は、**四月中旬まで行います。注意事項をご参照の上で、ご記入願います。**

①記入は、ボールペンかサインペンでお願いします。

②個人情報について、請願署名の取り組は「個人情報保護に関する法律」には抵触しません。また、記入された氏名・住所は請願として国会に提出するものであって、他の目的で使用されることはありません。

③今回も募金活動に力を入れております。

署名のみでも構いませんが、皆様の十円、百円が大きいので、余裕のある方は、是非ご協力をお願いします。

④署名用紙は沢山ございますので、追加で郵送することもできます。その時はお申し付け下さい。

⑤署名にご協力下さった方は、風の子会職員にお渡し下さるか、下記住所までご郵送をお願いします。

⑥集まった署名はきょうされんで取りまとめた上で、国会に直接届けます。

* * * *

Q、募金はどの様に使われるのですか？

A、募金はキャンペーンの資金、総会、全国大会・国会請願行動への利用者の参加費用、各作業所の運営費として、有効に活用させていただきます。

例えば、今回の署名で風の子会が十万円の募金を集めました。五割（五万円）をきょうされん全国事務局に、残り三割が風の子

会、二割が東京支部へ分配されます。

署名用紙の送付・お問い合わせは・

風の子会・高浜生活実習所

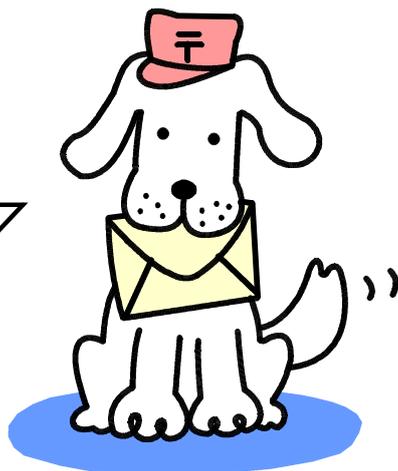
〒108-0075

東京都港区港南一―一―二十七

カナルサイド高浜三〇二号室

Tel 03-(三四七四) 九六七四

署名担当 丸岡 秀明まで



ようしくおねがいします！

区長との懇談会報告

私は昨年（火）の11月11日、初めて港区長との懇談会に出席させていただきました。当会のほうからは、私以外に、花田会長と職員の内田さんが会の代表として参加をしました。



港区の「ちいばす」のルートは今より増やしてほしいとか、入浴サービスについてや、グループホームについて等、各要望や、また、それについての回答もして頂きましたが、どれも事前に用意された回答用紙に基づいていたものだったので、難しい言葉が多く、しかも駆け足の上、短時間で行われていた為、初参加の私にとっては、とても難しかったです。だけれど、すごく勉強にもなった良い時間でもありました。

みなさん、お疲れ様でした。

天海 隆一



移動介護実習



11月19日（水）に、お台場で港区のヘルパー移動介護実習が行われ、事前に風の子の方へ委託をされて水曜メンバー全員で参加をしてきました。その日の朝、台場区民センターに集合をしました。障害者福祉課の方の挨拶や説明があり、風の子会の丸岡所長の話などを聞いて、3班に分かれてそれぞれの自己紹介などをして、一路デックス東京ビーチへ徒歩で行きました。昼食のことですが、僕たちの班は和食のお店に入り、僕は「豚すき焼き定食」を食べました。僕の食事介助してくれた方が美人だったので、緊張していたため味は覚えていませんが、お喋りをしながらおいしく頂きました。その後、買い物がてら店内をウロウロしました。介護実習も終了時間に近づいてきたので、各班は台場区民センターへ戻り解散をしました。その後風の子のメンバーは、キャブに乗り込んで自宅へ戻りました。当日、参加された皆さん本当にお疲れさまでした。僕たちで介護の参考になりましたか？今後ヘルパーや介護福祉士の資格を取得したら、僕たちがお世話になるかもしれませんが、その時はよろしくお願いします。

田中 聡

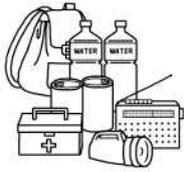
十一月十九日（水）に、台場区民センターで港区のヘルパー移動介護実習が行われました。障害者福祉課の方の挨拶のあと、丸岡所長の車椅子の押し方、段差の乗り越え方、ブレイキのかけ方などの説明がありました。そして三班に分かれて昼食のためデックス東京ビーチに向かいました。僕たちの班はデックス東京ビーチの中にあるアメリカンレストラン『RED WOOD GRILL』に入りました。ステーキ、ハンバーグ、パスタなど・どれも美味しくするために、みんなかなり迷ってしまいました。ちなみに僕はハンバーグを食べました。食事介助の時はお互いに緊張した部分もありましたが、時間が経つにつれ介護者とも自然に会話が出来るようになってきたと思います。そして昼食後は台場一丁目商店街にみんなで散歩に行きました。昭和三十年代の下町を再現しており、駄菓子やレトログッズ、和雑貨を販売していました。介護実習も終わりに近づいてきたため、各班台場区民センターへ戻り解散となりました。

今回の移動介護実習を通して、ヘルパーさんと接することにも慣れました。自分の要望をきちんと伝えることが大事だと思いました。参加された皆さん本当にお疲れさまでした。

佐久間 庸



防 災 訓 練



昨年も11月に高浜荘で防災訓練が行われました。火災が起きたことを想定して住人が3階会議室に何分で集合出来るか、また阪神淡路大震災を経験した方の体験談などを聞くことが出来ました。大震災を経験した人は身近にもいました。祖母は関東大震災の年に生まれたので、本人にその記憶はありませんが、そのお父さん（僕の曾おじいちゃん）は辺り一面火の海の中、愛宕山にリヤカーを引いて避難したそうです。このような経験は出来ればしたくありませんが、生きている内にもっといろいろなことを聞いておくべきだと思います。災害がどうしても自分の身に起こってくるとは考えられず、いつも人ごとのような気がしてしまいますが、貴重な経験を生かすことが身を守る第一歩だと思います。

佐久間 庸



工 房 編

11月頭頃から、ヒューマンプラザ祭りとテルベに納品する為の自主製品作りをしました。

11月・12月は、冬限定の製品を作りました。

12月に入ると『年賀葉書の埃取り』の仕事がきて、皆で一生懸命頑張りました。

12月22日にキャブ掃除及び実習所の大掃除をしました。



12月中旬から企画に依頼された『判子押し』の仕事をやっています。

1月6日にテルベから商品の注文があったので、納品する為の製品を作っています。

永澤 心一

牛乳パックの募集、休止のお知らせ

いつも皆様に、牛乳パックのご寄付を頂き、本当にありがとうございます。

お陰様で沢山の牛乳パックが集まりました。これには工房一同、気合いが入っております。ですが、予想以上に頂いた為、置き場が無い状態になってしまいました。ですのでしばらくの間、牛乳パックの募集をお休みさせていただきます。

また頃合いを見て募集を掛けたいと思っていますので、勝手なお願いではございますが、その時はどうぞ宜しくお願い致します。



実習所報告

十二月仕事終わりが近付くと、大掃除
 ・整理整頓をしました。
 一月五日が風の子の始まる日なので、今日は仕事をせずに皆で泉岳寺に参詣しました。岡本さんにお線香を代表で上げてもらった後に、全員で賽銭箱前迄行き（車椅子の人は職員さんに階段の所を持ち上げてもらって）、御賽銭を上げる事が出来ました。赤穂浪士の墓も見えて回りました。

田村 亮彦

企 画 編

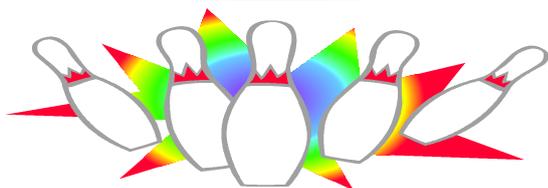


ハラへった〜



11/19 移動介護実習

11月19日、港区からの依頼で「身体障害者の移動介護実習」というものを行いました。ヘルパーというものに興味がある方たちが参加して、実際に障害者と触れ合い、車椅子を押して道を歩いたり食事介助をしたりという実体験をしてもらおうというものです。当日は10人弱の人が参加し、お台場近辺を散策しました。デックスで食事を取り、その後館内を見て回りました。僕らメンバーも、こういう機会に触れることがあまりないので、車椅子の押し方などをどのように指示すればいいのか、始めは戸惑いましたが、会話を重ねるうちに徐々に打ち解けてきて、リラックスして時を過ごすことができました。こういう機会は障害者にとっても福祉に関心がある人にとっても大事なことだと思います。今後もっと頻度を増やし、僕らも貢献できればいいなと思っています。



12/10 新聞読み・ボーリング

前半はみんなが持ってきた新聞から気になる記事を取り上げて話をしました。2008年は世界的な大不況や残忍な殺人事件など嫌なニュースばかりだったような気がします。今年は明るい出来事の多い1年になるといいですね。

後半のボーリングは今回で3回目。メンバーも職員も要領がわかってきたので、テンポよく楽しく進行しました。

学習会報告

11/12 30周年準備

この週末に行われる風の会30周年式典で僕らメンバーと職員が演じる出し物の“ヤングマン”で使うボンボン作りと歌の練習をしました。始めは手探り状態でやっていた歌でしたが、当日が近づくにつれてみんなも徐々に手応えを掴めてきたような気がしました。当日の僕らの歌を見てくれた皆さんは楽しんでくれましたか？



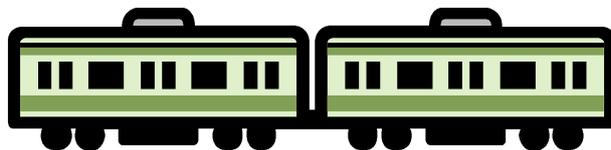
練習
したよー！

11/26 鉄道の話・風の子笑点

メンバーの朝生さんと斉藤くんが進行役で前半は鉄道の話。駅名を挙げて「これは何線でしょうか？」というクイズ形式で盛り上がったようです。後半はお馴染み風の子笑点。職員がお題を出してみんながそれに答えるという日テレの笑点のパロディー。その中のいくつかを紹介。

お題「二度と参加したくない同窓会」

「ぼけたときの同窓会」「戦争でできない同窓会」「僕のことを誰も覚えてない同窓会」

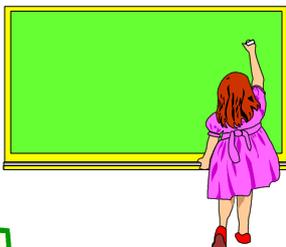


12/3 ビデオ鑑賞「相棒 劇場版」

2008年の邦画では最高のヒット作となった劇場版「相棒」をDVDで観ました。東京都内を舞台に繰り広げられるサスペンスは見応えがありました。杉下右京と亀山薫の相棒コンビの活躍はテレビシリーズ同様に画面の中を駆けめぐっていました。

12/24 クイズ大会

年末最後の風の子は恒例のクイズ大会です。今回の担当メンバーは太田稔さんと小野塚でした。どちらのクイズもなかなか難しく、みんな一様に頭を捻らせていましたが、それなりに盛り上がり上がっていたようです。



12/17 株の勉強・音楽鑑賞

メンバーの太田稔さん（通称ダンナ）が講師役で株についていろいろな話をしてくれました。ダンナが株を始めたきっかけや、儲けたこと損したことなど、自分の経験談や自身の株に対しての考え方などをダンナらしい訥々（とつとつ）とした語り口調で教えてくれました。

後半は音楽鑑賞でしたが、クリスマス会を目前に控えていたので、クリスマスソングをみんなで聴いて、気分を高めました。



1/14 音楽鑑賞・かるた

前半は、メンバーが持ち寄ったCDをみんなで聴く鑑賞タイム。60年代の歌謡曲と80年代のポップスを中心に聴きました。広い世代に懐かしい曲が聴けたので、みんなほんわかした気分になりました。後半はかるた遊び。3班に分かれて楽しみました。学習会でのかるたは僕は初体験でしたが、けっこう熱く盛り上がりました。

1/7 予定決め

1、2月分の学習会の予定決めの日。定番のものばかりが挙がり、斬新さにはやや欠けているように感じられました。もう少し新しいアイデアを出せるように頑張りたいと思います。



松本 恵司

ドラえもんのおールマイテイパスが欲しい。車椅子にパスシールつけてはって遊びたい。スクールバスで迎えに来て、学校に行つた。学校の担任の先生が礼にはじまり、礼に終わることを教えてくれた。

学校のスクールバスみたいになににでも乗れるから、いろんな所に行つてみたい。まず船に乗りたい。船旅楽しそう。みんなが船に乗っているのがうらやましいなと思います。一緒にやってみない？

虫めがね

今回のテーマ「ドラえもん」の道具でほしいものはメンバーにとつてはちよつと難しいお題だったようです。松本さんも幸さんも太田さんも、そして和栗さんも頭を悩ませていました。

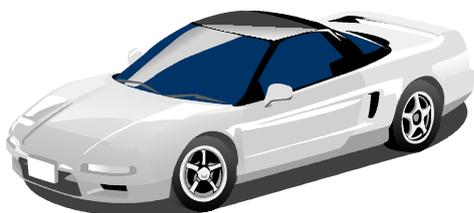




僕がドラえもん、ポケットから何か欲しい物を取り出してくれるとしたら、僕は歴史を四十年くらい後戻りさせたいと思っ... 何故なら、うちの母に会って見たいからです。うちの母は、僕にとって見れば最高の母でした。今でも会いたいという理由は、自分の性格をはっきり教えてもらいたいです。最近の僕の考え方、性格を、自分では分からないところがあるので教えてもらいたいです。とにかく僕は母が元気でいた時代に、「タイムマシン」を使って行ってみたいです。



太田 稔



和栗 頭太郎

私の世代は漫画は、十二、三才前後までの子供が見る物で、それから上になると、ほとんどの子供が漫画を見なくなるのが普通だった。だから私は、テレビの(漫画)アニメを見るのに、いささか抵抗を感じるのである。だからドラえもんの四次元ポケットに出てきたかどうか、記憶がいささか不明瞭であるが、地球に優しい、大気も汚さず、何時も綺麗な空気で、誰にでも運転が簡単で安全に乗ることが出来る、理想の夢の車を観たことがあるような気がする。何しろこの車、車体はエンジン、ダッシュボード、車軸以外は、タイヤを含めて全部がゴム製であり、浮き輪のように中に空気を入れて自動車の形にふくらまし、燃料は空気から水素ガスを取り出しエンジン動かすというものであった。その内、水素ガスは、使った後はまた水に戻るの、未来の燃料として、現実に研究開発されているようだ。



アニメ「ドラえもん」

の番組は家の子供達が見ていたけれど、私は余り興味を持って無かったためよく見てなかった。内容はネコの顔をした小型ロボットがネズミに両耳を噛まれ耳が無いネコ型ロボットになり未来から現代の日本にやって来て、のび太少年の出来が良くない為、困った時に必要に応じてポケットから色々な道具を出して助けてあげるといふ物語である。こんな道具があったらなんと想像した道具の一つに「へんしんライト(懐中電灯)」。この光を身体に当てると五体満足に成ってしまう。そうなれば自分で家庭の為、世の為、人の為に働く事が出来る。仕事は社会福祉関係(障害者関連：良きケースワーカー、社会福祉士の資格を取って介護事業所の所長、風の子会の職員・所長など)いずれかの職業をやりたい。又は税理士か会計士かな?! 二つ目はどこでもドアで宝くじの抽選会に行つて「あたりケータイ(携帯電話の様な物)」で私を買った宝くじの番号を入力して電波でピーと遣れば大当たりだ!そして、どこでもドアやタケコプター等で日本各地、世界各国を回り、福祉団体に寄付したりカンボジア難民や大震災で被害に遭った人々等。お金に困って居る人々に分けてあげたい。残り最新のパソコンとデジタルテレビを買い、あとは家庭のために取っておきたい。

幸 高史

冬期売上報告
 （カレンダー＋オリジナル商品）

総売上金額
 三二六,一五〇円

カレンダー売り上げ数TOP3

一位

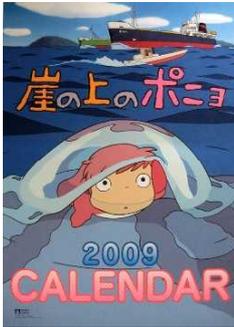
壁掛け版

はたらく仲間のうたカレンダー



二十五個

二位
 崖の上のポニョカレンダー



十九個

三位
 にゃんこがいつぱいカレンダー



十二個

オリジナル商品TOP3

一位

きょうされんふきん（五枚組み）



十二個

二位

きょうされんふきん（三枚組）
 お茶（やぶきた茶、ほうじ茶、玄米茶）
 アクアマック



三個

皆さま、お買い上げありがとうございました。

Thank you



新行事委員紹介

昨年末、夕会にて今年の行事委員選挙が行われ、永澤心一さん、小野田浩さん、小野塚航さんの三名が行事委員に選ばれました。そこで、新行事委員の方々にご挨拶と抱負をいただきますので、ここに掲載いたします。

過去二年は選挙なし

でやることになりましたが、今回はちゃんと選挙を経て任命されました。その分緊張感も幾分増して、この一年間は励みたいと思っております。外に出ようと旅行は風の子にとって大きな行事なので、いい企画になるようにいろいろと頭を捻りたいです。

小野塚 航



一所懸命頑張りたいと思います。「外に出よう」はクイズなどを取り入れたオリエンテーション形式でやりたいと思います。

小野田 浩



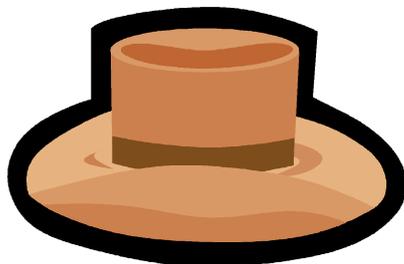
仕事は何があるかわからないから難しいところ等は手伝ってもらうけれど、出来る限り色々頑張ります。

永澤 心一



シベリヤ出兵秘話

第55回



さあー、明日もう一日だけ頑張っ、明後日は、全員が元の服装に着替えて、それぞれの部署に戻れるのだ。私達二人も、また胸に金モールの参謀肩章を付けて、参謀本部に帰れるのだ。瀬藤大佐は上機嫌であった。だが現実、そう甘くはなかった。関釜（かんぷ）連絡船で、釜山に降り立った、二人の恰幅の良い紳士、パナマ帽に白の背広に白靴に、一人はステッキを持ち、もう一人はカバンを持っていた。二人は、出迎えの三人の将校から、お出迎えに参りましたと、直立不動の姿勢で一斉に敬礼をした。二人は出迎え御苦労と、右手を軽く上げて会釈をした。やがて、五人は二等車に乗ると、列車は静かに動き出した。

～次回に続く～
栗 あきら

お知らせ
太田稔さんの連載「母の思い出」は都合により休載いたします。

わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第14話 ついに3年目に突入する

2年目に僕の部屋は溜まり場となってしまったが、3年目もそれは変わらなかった。むしろその傾向は増したとっていい。3年目に同じ部屋に住むことになったのは、1つ下の秋田出身の2年生の後輩だ。彼一彼のままでは何だか呼びにくいので、とりあえず彼のことをHと呼ぼう—とは前年から付き合いが深くなり、同じ部屋で一年間やっていこうということになったのだ。正確に言えば、Hは食費の滞納が多くて部屋割り会議の参加権を失っていたので僕が拾ってやったというほうがあるのかもしれない。Hとは前話で述べたように一緒にドライブに行ったり、あるいは麻雀をしたり、飲みに行ったりカラオケに行ったりなどよく遊んでいた仲だ。2年目の僕の部屋の溜まり場の常連であり、こたつの中に体を突っ込んでそのまま寝てしまうこともよくあった。寮祭の夜には酔いつぶれて僕の部屋にやってきて寝ながらゲロを吐いていた。「人の部屋で何やってんだか」そう思いながら介抱してやった。

僕が最も信頼していた関西の先輩—彼のことはTと呼ぼう—は僕が3年になった年に卒業してしまった。けれどTは卒業してもすぐには西宮に戻らず、小田急線で4つ先の駅近くのアパートに住むことになっていた。卒業してからも仕事が休みの日には寮に来ていたし、ドライブに行ったり飲んだり語り合ったりという関係は続いていた。

前の年から遊び仲間になっていた山形出身の先輩—彼はSという—はこの年は卒業に失敗して5年目の学生生活を迎えていた。寮の部屋と付き合いっていた彼女のアパートを往復するパターンを繰り返していた。たまに寮に帰ってくると、相方が出かけていて部屋に鍵をかけていて、自分の部屋に入れなかったことがあった。そういうときはたいてい僕の部屋に来てゲームをしたり雑誌を読んだりしていた。Sは顔立ちが整っていて、明るく賑やかな先輩だった。だから彼女がいない時期はほとんどなく、新1年生にも注目の男だった。

1年の頃から相性が良く、愚痴を言い合ったり悩み事をお互いに語り合っていた同じ学年の滋賀出身の彼—彼はIだ—もまた僕の部屋の常連だ。体育会系のがっしりとした体格で、バスケットに情熱を燃やす熱い男だったが、部屋ではいつもタンクトップに短パンで横たわって腹をポリポリかいている、どちらかといえばあまり行儀の良い奴ではなかった。僕は自分のことを文系だという認識はあまりないが、体育会系との接点がなかったのも確かだ。だから僕にとってIは新鮮なタイプだったのかもしれない。

3年目の僕の部屋は前年と同じ部屋だったので、面倒な引越作業をすることなく新しい年度を迎えることとなった。この部屋での1年間は、僕にとって忘れられない時間となる。楽しくもあり苦しくもあり、嬉しくもあり辛くもある1年間だった。僕の寮生活を語るにあたって、この3年目は欠くことのできない時間だ。

～ 第15話へつづく ～

夕会便り

十一月二十二日

「クリスマス会&行事委員会について」

前回の夕会（十一月八日）にも、クリスマス会を行うかどうかが提案があり、その結果行われないうことになりました。その結果に疑問に思ったあるメンバーは、再度その日の夕会で、クリスマス会について提案を出しました。前回の意見が多かったのは「十一月十五日の日に行う三十周年記念パーティーがあるから・・・」という意見でした。今回の夕会でも様々な意見が出ました。その結果、謝恩会形式で行われることになり、十二月二十日（土）に決まり、その実行委員は、メンバーの三名と職員の名で行われることになりました。続いて新行事委員会について議題がありました。今年は、O・Mさん、O・Wさん、M・Cさんの三名でした。お疲れさまでした。来年の行事委員の立候補の受け付けは、一週間後（十一月二十九日）までに、選挙管理委員会までに報告をすることになり、選挙は一週間後に行われることになりました。



十一月二十九日

「クリスマス会&夕会議長団&行事委員会について」

十二月二十日に行われるクリスマス会の事について、実行委員から提案がありました。それは「メンバーの出し物で歌を歌ってほしい」という提案でした。早速、皆で何を歌うか考えました。その結果「ジングルベル」を歌うことになりました。次の議題は、夕会の議長について話し合いをしました。今までの議長は、メンバーの中から二、三人が立候補した人が行っていたのですが、今回の夕会から、過渡期の日直が夕会の司会を行うことになりました。さらに行事委員の立候補が本日締め切られ、四名の選挙演説を行いました。選挙は、それぞれの違った公約を聞きました。選挙は、翌週の十二月六日の夕会の時間に行います。

十二月六日

「行事委員の選挙について」

二〇〇九年度の行事委員の選挙が行われました。メンバーと職員皆で投票用紙に書いて、投票箱に入れました。見事当選した人は、小野田さん、小野塚さん、永澤さんの三名になりました。新行事委員の皆さん頑張って下さい。



田中 聡

スケジュール

- 1月14日（火） 運営委員会
- 1月17日（土） 外に出よう代表者会議
- 1月25日（日） 高浜荘もちつき大会
- 1月26日（月） 振替休日
- 2月18日（水） 運営委員会



年賀状のお礼

皆さん2009年あけましておめでとうございます。今年も以下の方々から年賀状を頂きました。ありがとうございました。

のびのび共同作業所大地様
みなと工房様
社会福祉法人かがやけ福祉会様
社会福祉法人 家庭授産奨励会 西麻布作業所様
はすの実作業所様・とちの実作業所様
弘済学園アフターケアセンター 所長 富澤 克佐様・職員一同様
白金の森 施設長 原 喜代次様
特定非営利法人 拓人こうべ様
東京都育成会港区センタ - 職員一同様
すばる介護センタ - 代表取締役 錦織 里枝子様
南葛勤医協 芝病院・健診センター所長 林 幸子様・職員一同様
日本S&T株式会社・(株)高滝リンクス倶楽部 代表取締役 西澤 民夫様
株式会社 芝浦タイヤ商会 代表取締役 須藤 雅彦様
学校法人茶屋四郎次郎記念学園 理事長 名誉博士 中島 範様
有限会社エ・ティ・マ・ケット 代表取締役 花岡 里美様
広告マッチ・ギフト用品 森部 清様
麻布13倶楽部 高橋 健治様
鈴木 哲也様
飯田 キ工子様
小西 詞郎・雅子様
能代 かおる様
武藤紀高・一穂様
長野 松男・君子様
昆 正治郎様
うおがし銘茶様
東京トヨタ様
穴倉自動車様
(株)ユニオンサービス様
(株)ニュートヨ株式会社様
品川区社会福祉協議会様
日本社会事業大学様

(順不同)



寄付のお礼（十二月六日～一月八日）

多くの方々からご寄付を頂きました。

御寄付を下さった方

高野カネ様 永井麻美子様 井出義文様

賛助会にご賛同下さった方

小野田和子様 神谷之和様 島村亨延様
神谷和子様 雨宮潔様 小野塚智香子様

物品を寄付して下さった方

昆正治郎様 山崎真理子様 岡竹徹様
小野田様 牛山様 坂本様 稲井田様
仲江様

三十周年記念式典助成金

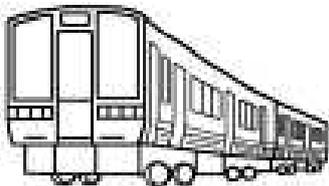
港区心身障害（児）者・団体連合会様



ありがとうございました。

僕は最近おそまきながら電車に乗って色々なところに行く楽しさを感じました。

また、電車の中で偶然の出会いなども沢山ありました。勿論なじみの駅員さんとも知り合うことが出来ました。僕はこれからも、通勤や、色々なところに電車に乗って行きたいと思います。「新しい出会いを求めて」



天海 隆一

編集後記



僕は、三年くらい前に、こんな噂話を聞いた事があります。「NHK紅白歌合戦は視聴率が低下したので、辞める方向に持っていく」という物でした。ところが今や視聴率は20%を取っているのですから、視聴者の状態。お金を取っているのだから、お金のトを八月の始めくらいに取って、お金のトを「紅白」という方法を探り、九月に検討「紅白」という声が多かった場合は、その年の「紅白」という形にした方が、一回か五年に一回とかでやるとか、と

太田 稔



Relaxation time....

高い所が好きな私はふと思った。前世は猫ではなかったのかと。そう言えば性格は猫ソックリで自分でも可笑しくなった。高い所が好きと言っても地上や頭上に、何か？光る物とか、動く物とかが、無ければ面白くないことを実感した。

太田 圭子

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

編集者
天海隆一
太田稔
佐田久彦
三木間
幸木直亮
和栗史郎

太田小野田
松田中塚
右田
吉田
久磨恵
代子司
主 子

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://www.kazenokokai.npo-jp.net/>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

